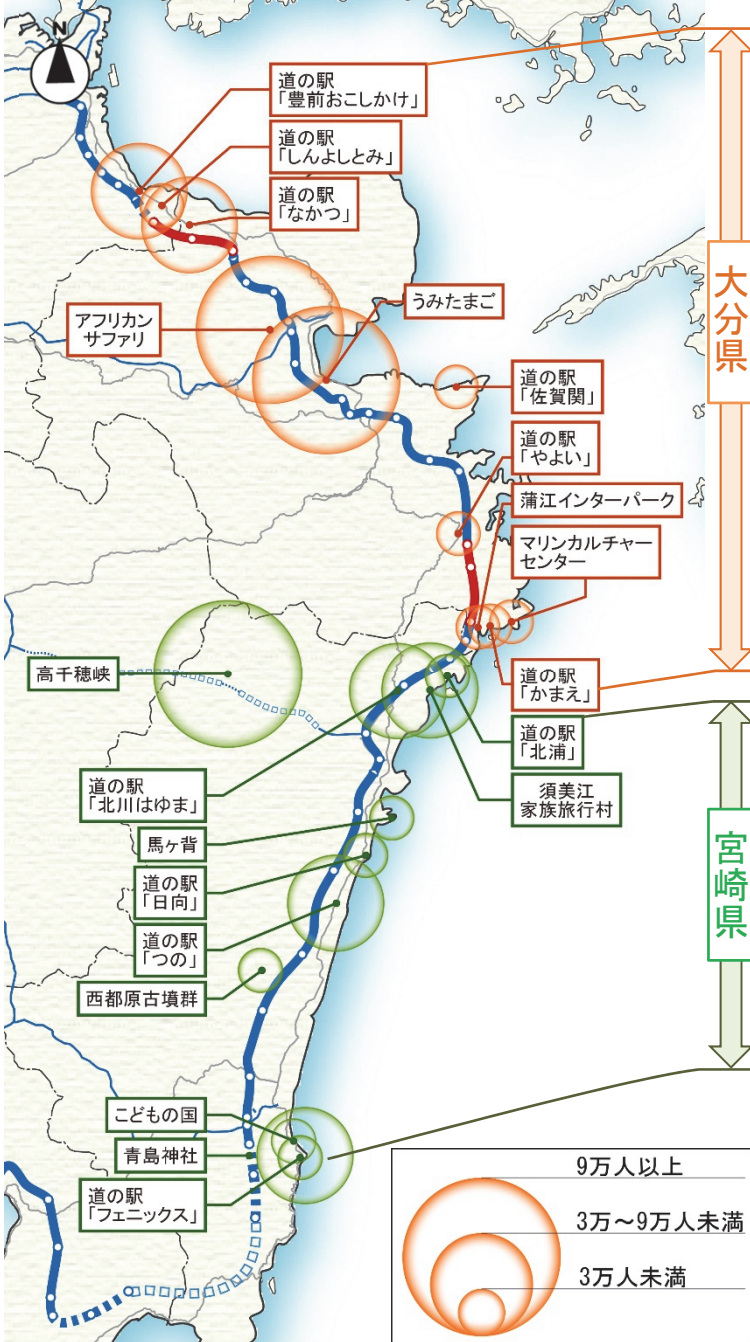


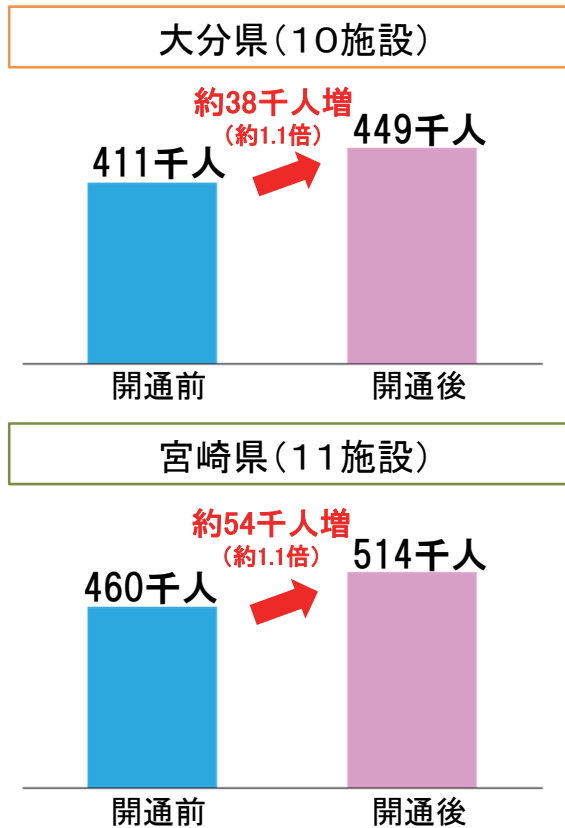
- この夏、東九州道の開通により、観光施設等の入込客数が約1.1倍に増加。
- 開通が“きっかけ”で旅行を計画した旅行者が約6割を占める。

東九州道の開通により、大分県と宮崎県の観光入込客が約1.1倍に増加

■主要観光地と道の駅の入込客数

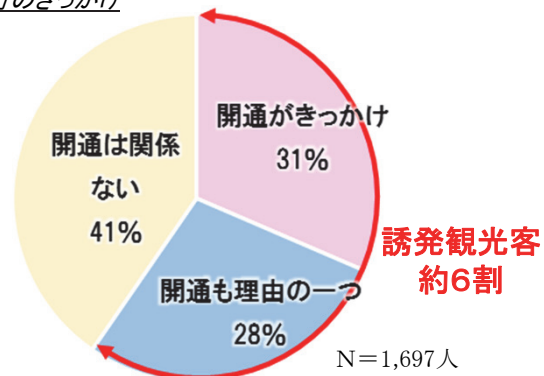


■主要観光地の入込客数の変化



資料: 各観光施設へのヒアリング結果
調査日: [開通前]H26.8.1～H26.8.31、[開通後]H27.8.1～H27.8.31
※大分県には、福岡県内の道の駅「豊前おこしかけ」「しんよとみ」を含む

Q. 旅行のきっかけ



資料: 観光施設、道の駅アンケート調査 観光施設: 10箇所 道の駅: 11箇所

■「うみたまご」の状況



利用者の声

大分から宮崎への移動が便利になったので初めて青島に来ました。(大分市から宮崎市へ)



東九州道が開通して今まで行くことがなかった大分に何度か行った。(都城市から大分市へ)

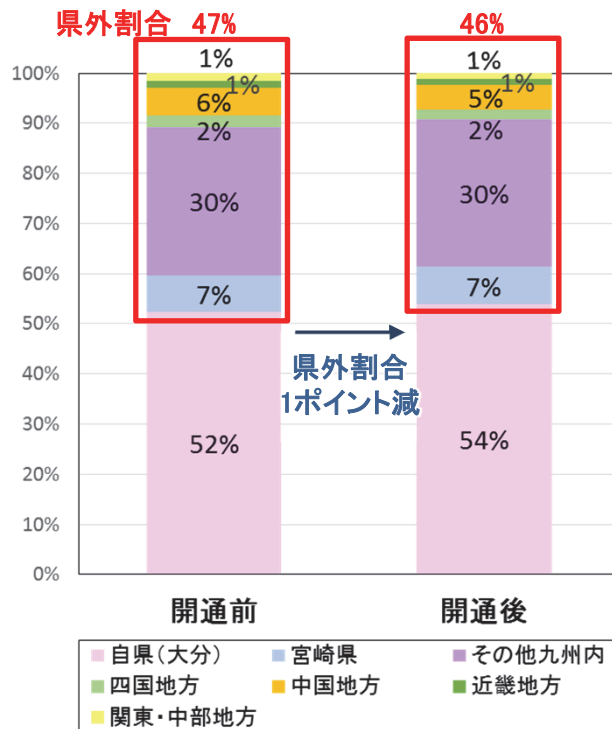
- ▶ 大分県では、県外観光客はほぼ変わらず。
- ▶ 宮崎県では、県外観光客が約4割に上昇（5ポイント増加）。特に、大分県から2ポイント、九州の各県から4ポイント増加。

宮崎県の観光施設は、県外からの入込客数が5ポイント増加

■観光施設位置

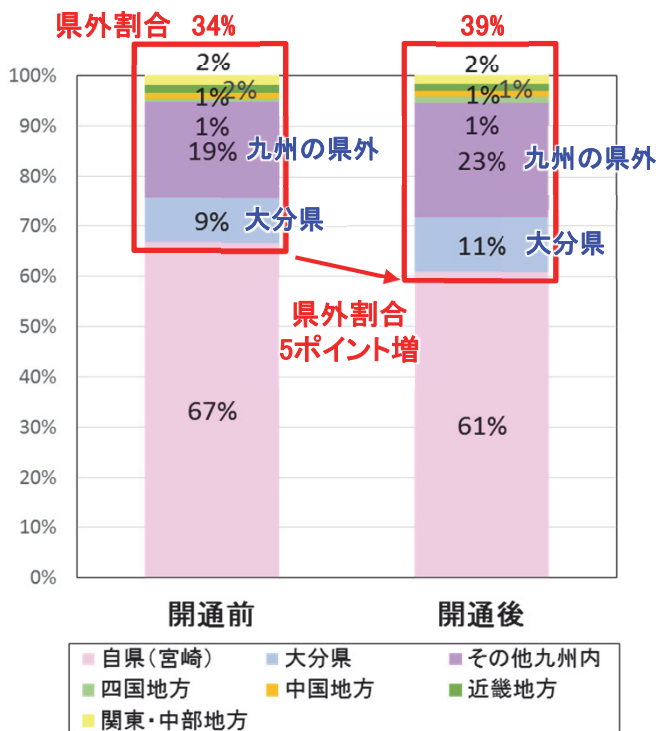


■大分県の観光入込客の地域別シェア



※四捨五入の関係で合計は100%にならない

■宮崎県の観光入込客の地域別シェア



資料: 車籍地調査結果 観光施設10箇所 道の駅11箇所
調査日: [開通前]H26.8.24 [開通後]H27.8.23

※大分県には、福岡県内の道の駅「豊前おこしかけ」「しんよとみ」を含む
※四捨五入の関係で合計は100%にならない

施設管理者の声 (アフリカンサファリ)



- ・東九州道の全線開通を見込んで、北九州、宮崎エリアへCMを放映している。
- ・その結果、昨年と比較して、宮崎・鹿児島ナンバーや北九州・筑豊ナンバーも増加している。

利用者の声



- ・大分と宮崎が高速で繋がり、大分と宮崎の交流が多くなった

(大分市から宮崎市へ)

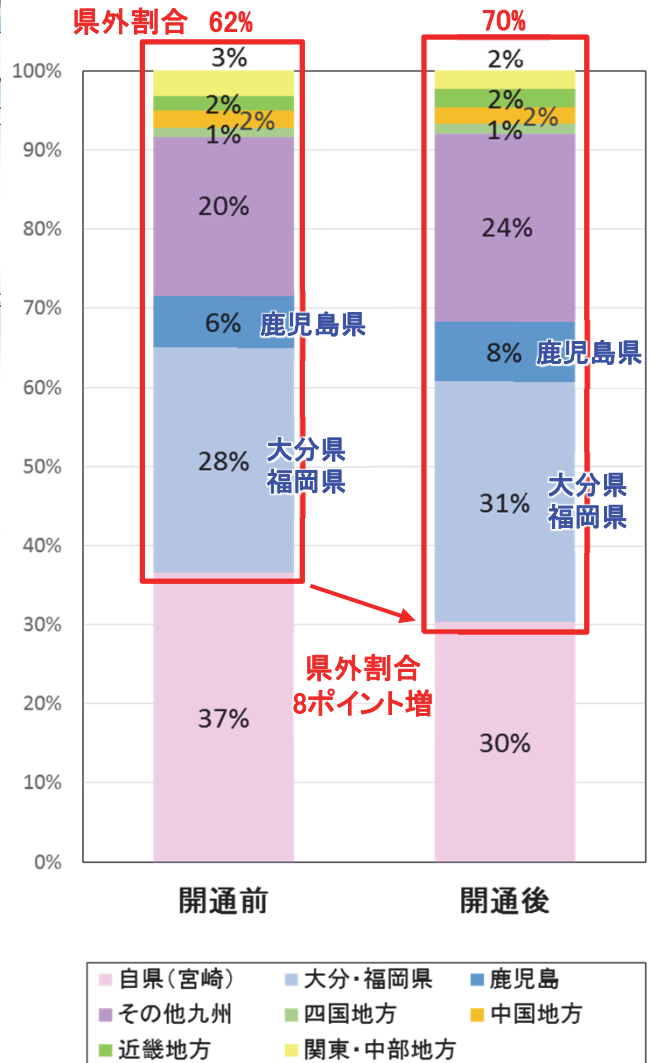
▶ 高千穂峡では、県外からの観光客の割合が7割に上昇（8ポイント増加）。特に大分・福岡県や鹿児島県の観光割合が増加（合計5ポイント）

高千穂峡では、県外観光客の割合が8ポイント増加

■ 高千穂峡の観光割合



■ 高千穂峡の地域別シェア



資料：車籍地調査結果

調査日：[開通前]H26.8.24 [開通後]H27.8.23

※四捨五入の関係で合計は100%にならない

■ 「高千穂峡」の状況



施設管理者の声（高千穂峡）



東九州道の開通後、前年より入込客数が増えている。遠方からの観光客や外国人観光客も増えている。

利用者の声



時間が約40分短縮できた分、高千穂峡で長く遊べた。（大分市から高千穂町へ）昔では考えられない早さで高千穂へ着いた、また来たい。（鹿児島市から高千穂町へ）

▶ 東九州道沿線にある道の駅において、開通を機に夏の集客増に向けた様々な開発や取り組みを実施し、売上げ額が約1.1倍に増加。

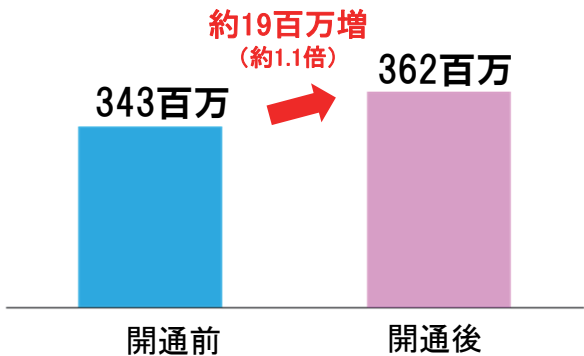
東九州道沿線の道の駅では、入込客の増加により売上げが増加

■道の駅位置図



■道の駅(10施設)

道の駅の売上げ額



※東九州道沿線の道の駅(10施設)より算出
調査日:[開通前]H26.8.1~H26.8.31
[開通後]H27.8.1~H27.8.31

■夏の集客増に向けた開発・販売事例

道の駅	集客増加に向けた開発等
豊前おこしかけ	・「豊前の棚田ゆず」「とよみつひめ(いちじく)」「もも」など地元特産品の販売
やよい	・特産物販売所「弥生ぴかいち」のリニューアルオープン実施
かまえ	・かまえ産養殖岩牡蠣を使用した岩牡蠣料理のPR活動
北浦	・北浦産の手づくり塩とお茶で作った「北浦月の塩緑茶塩」の新製品の開発
北川はゆま	・延岡特産の鮎やチキン南蛮、芋を使った「鮎天そば」「鮎天ぶら南蛮膳」「焼き芋ポップコーン」を開発
日向	・地元生産者の「日向道の駅チーズ饅頭」の販売

■道の駅「豊前おこしかけ」の状況



賑わう観光施設

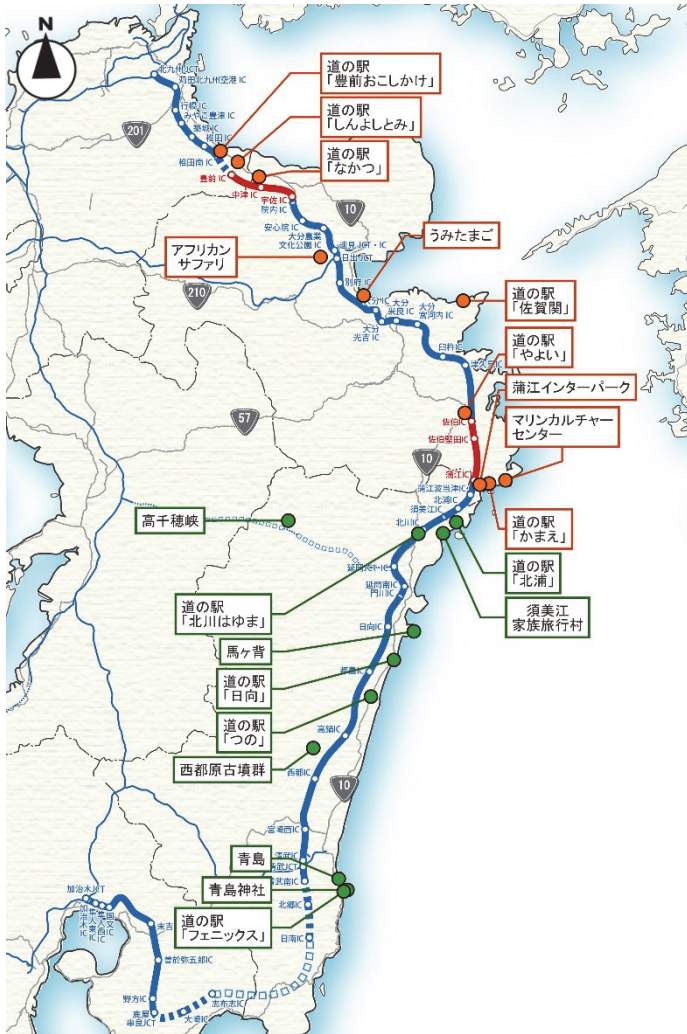
施設管理者の声 (道の駅北川はゆま)

・高速道路の開通を機に、県内外からのお客様が、お盆を中心に増加しました。
・レストラン等も好調で、約3割売上げが増えました。

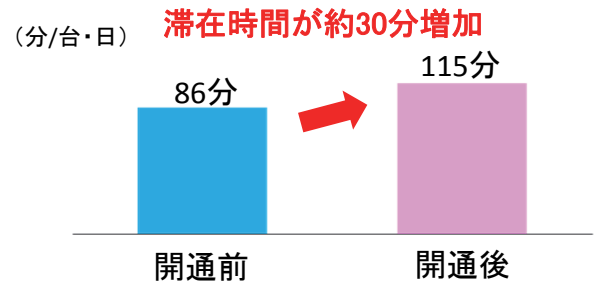
資料:(道の駅の売上げ額)施設管理者ヒアリング結果
調査日:[開通前]H26.8.1~H26.8.31
[開通後]H27.8.1~H27.8.31

- 移動時間の短縮により観光施設や道の駅への滞在時間が約30分増加。
- また、観光施設へ3箇所以上立寄った車両が約6割へ上昇（31ポイント増加）。
- 車両の走行距離は平均22km増加。100km以上の走行する車両が顕著に増加。

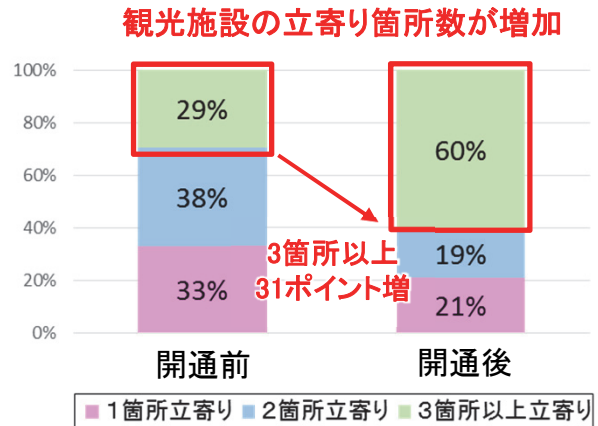
車両一台当りの滞在時間が増加し、立寄り回数も増加



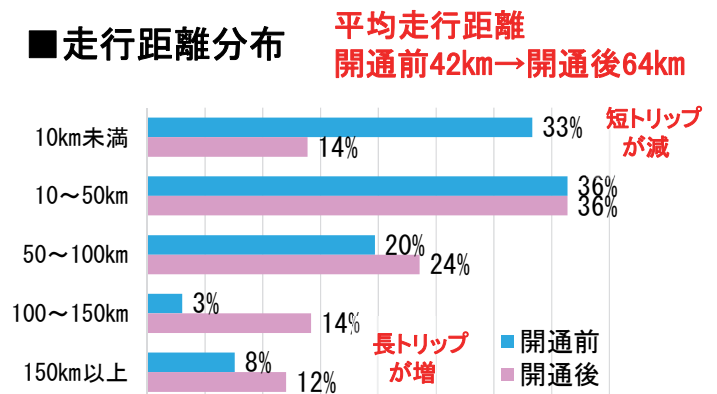
■滞在時間



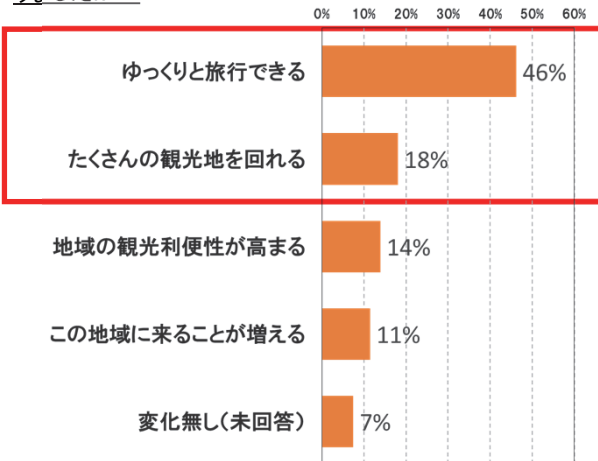
■観光施設立寄り箇所数



■走行距離分布



Q. 東九州道が開通して観光活動でどのような変化がありましたか？



出典: 観光施設、道の駅(21施設)アンケート調査
開通後: H27.8.23 N=3,183人の回答

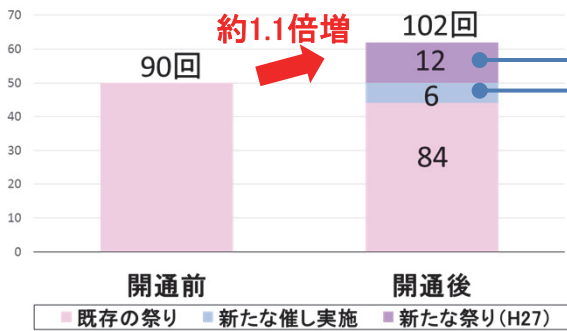
観光客の声

時間短縮ができ、色々観光地が見られる。
(山口市から熊本市へ)
便利になって他のところも行ってみたい気持ちになった。
(宮崎市から大分市へ)
時間短縮によりいっぱい遊べる
(小林市から延岡市)

- 東九州地域へ新たなお祭りやイベントの開催数が約1.1倍に増加し、入込客数は約25万人増加。東九州地域が広域連携した新たな催しも開催。
- また、東九州地域への旅行ツアーが1.6倍に増加。ツアー定員も増加。

東九州沿線では、新たなお祭りやイベントの開催や、新たな催し物が登場

■春～夏のイベント・祭り開催状況



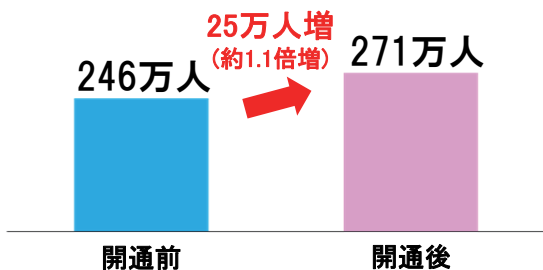
新たな祭り（佐伯）



新たなイベント（中津）



■春～夏のイベント・祭り入込客数



広域交流の催し（延岡）



まつりのべおかの様子【佐伯から太鼓団体が出演】

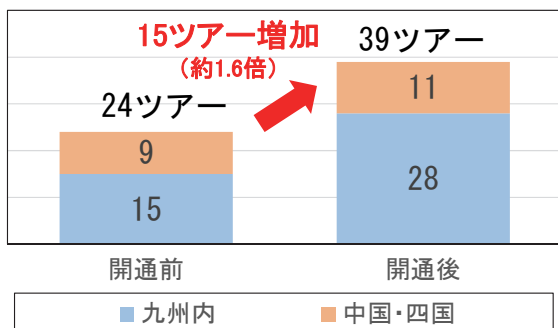
資料：自治体観光課ヒアリング結果
調査日：[開通前]H26.4～8 [開通後]H27.4～H27.8

●広域交流の催しの事例

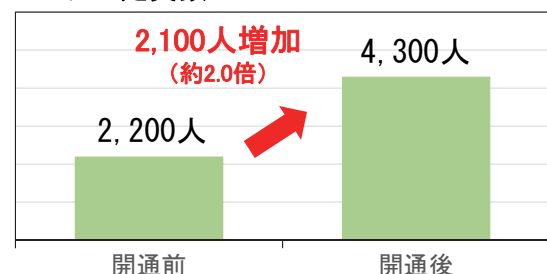
地域	新たな広域交流イベント
延岡市	・延岡の20万人規模のお祭りである春の「延岡大師祭」で北九州市小倉の祇園太鼓を招いて演奏を奉納 ・夏の「まつりのべおか」では開通にちなんで共演会テーマは「繋がる響き」。佐伯市のやよい桐傘礼(とがむれ)陣太鼓等が参戦
宇佐市	・安心院フェア葡萄酒まつりで、東九州道の開通を機に、東九州フードフェスタや東九州沿線市町のゆるキャラ運動会開催
大分市	・大分七夕まつりににおいて実施した観光のPRでは、東九州道開通を機に、延岡市が参加
川南町	・トントロン軽トラ市では、開通により初めて北九州市、竹田市から出店
築上町	・今回開通区間沿線の苅田町から宇佐市までを繋ぐ「のろしりレー」を開催

東九州道を利用した観光ツアーが開発され、東九州への旅行ツアー人数が増加

■東九州沿線への旅行ツアー数



■ツアー定員数



※旅行ツアーの人数は、「2ヶ月間の延べツアー数×バス定員(45名)」による試算値

資料：旅行代理店6社 バス会社ヒアリング 開通前：H26.7～8 開通後：H27.7～8

東九州への新規旅行ツアー山口、四国から東九州(7～8月)

【開通前】

- ・山口⇄九州：8企画
- ・四国⇄九州：1企画
- ・宮崎⇄大分：2企画
- ・その他九州内：13企画

【開通後】

- ・山口⇄九州：9企画(+1)
- ・四国⇄九州：2企画(+1)
- ・宮崎⇄大分：8企画(+6)
- ・その他九州内：20企画(+7)

旅行代理店の声

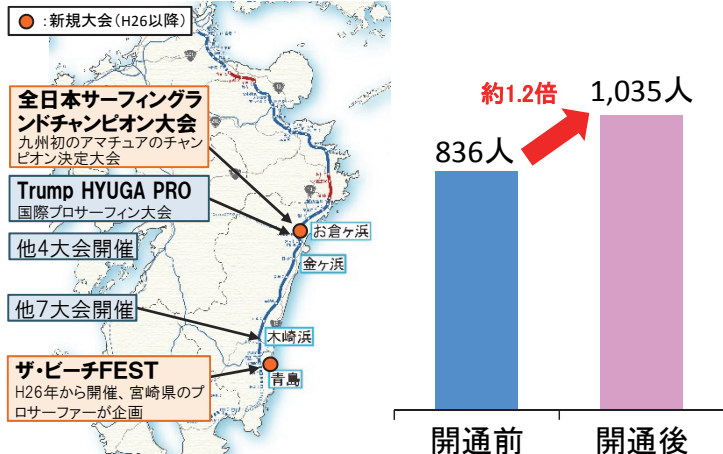


- ・東九州道の開通に合わせて、宮崎から大分へのツアー旅行客が増加している。
- ・大分以遠のツアーが組みやすくなった。
- ・大分へのマイカー需要が増え、宿泊プランが増えた。

- ▶ 九州初のサーフィン大会やライフセービング国際大会を開催。また、サーフィン体験スクールの参加者が1.2倍とサーフィン人口が増加。
- ▶ 東九州道のあいつぐ開通により、自然を売りにしたアウトドア体験ツアーの県外客が約2.5倍へ増加。

宮崎市、日向市 マリンスポーツの国際大会が開催

■サーフィン大会やサーファーが増加



▲サーフィン大会開催状況
資料: 宮崎県サーフィン連盟 (H27. 4~12スケジュール)
資料: 青島サーフィン体験スクール
開通前: H26. 6~8 開通後: H27. 6~8

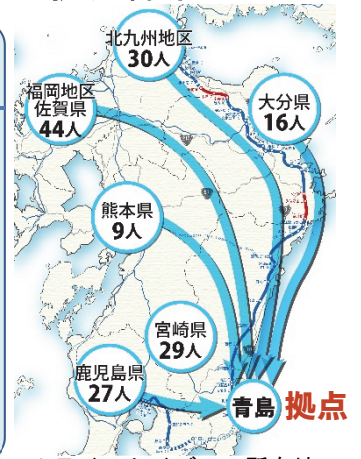
サーファーやサーフィン体験スクールの声



- ・宮崎の海へ気軽に行き来することができ、行く回数が増えた。(大分市から宮崎市へ)
- ・開通後、特に、大分方面からの体験スクールの利用者が増加している。(青島サーフィン体験スクール)

■ライフセービングの拠点都市へ

ライフセービング大会関係者
東九州道開通により、九州内のライフセーバーが集まりやすくなった宮崎の「青島」を、ライフセービングの拠点とするため国際大会の開催を決定しました。



延岡市 アウトドア体験ツアーの遠方からの観光客が増加

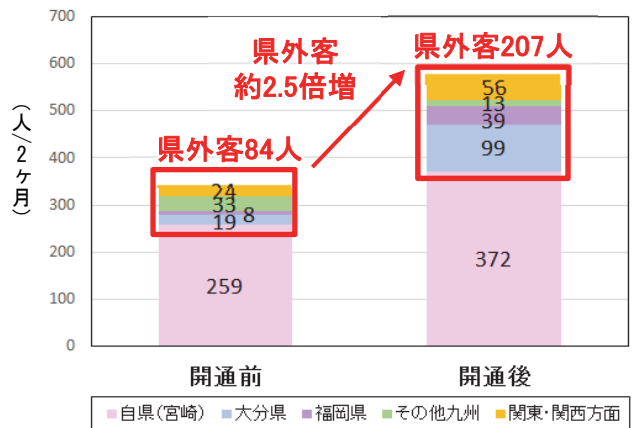
■新たな体験ツアーを開始

山里の農業体験と天空の千畳敷でピクニック	絶景!! 離島周遊クルージングと島ごはん
奇跡の清流「小川」でカヌーツーリング	九州屈指のポイントで海中散歩&BBQ
パワースポット「神さん山」トレッキングと「美人の湯」	マリリゾートひむか遊パークうみウラで海の恵みを満喫



資料: わけあって延岡、NPOひむか感動体験ワールド

■大分や関東・関西からの観光客が増加



▲アウトドア体験ツアーの観光客数

資料: NPOひむか感動体験ワールド 開通前: H26. 7~8 開通後: H27. 7~8

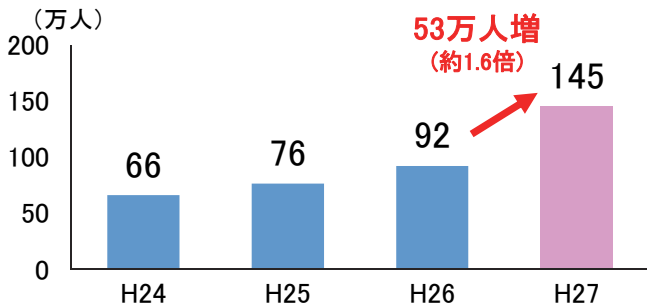
施設関係者の声 (NPOひむか感動体験ワールド)



- ・この夏、問合せ・申込みが殺到し、特にお盆の期間は受入を断った場面があった。
- ・7、8月の受入数が、**昨年の約1.7倍に増加**。特に**大分や関東・関西からの参加者増加**が顕著に見られた。
- ・メディアからの問合せも増加している。

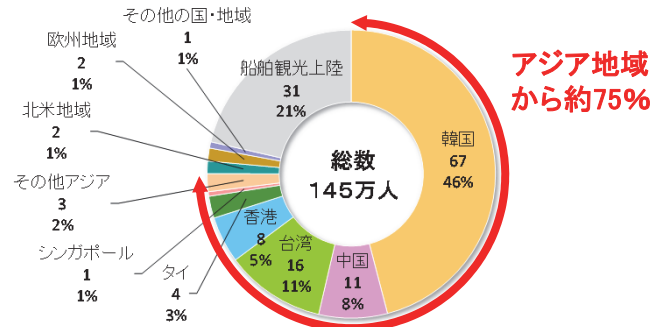
- 近年、九州への外国人観光客は大幅に増加。（対前年同時期比約1.6倍）
- 高速道路のインバウンド企画を9月から実施。（IC利用者は前年比2.5倍）
- 外国人の移動手段は、自動車が約3割で、訪問地の約4割が東九州方面（大分、宮崎）で今後も観光増が見込まれる。

九州への外国人観光客は大幅に増加(主にアジア地域)



▲九州の外国人入国者の推移

資料:法務省出入国管理統計(各年1月~7月集計)



▲主要国・地域別の外国人入国者割合

資料:法務省出入国管理統計(H27年1月~7月)

インバウンド企画の実施から、レンタカーによる東九州沿線への観光者増加に期待

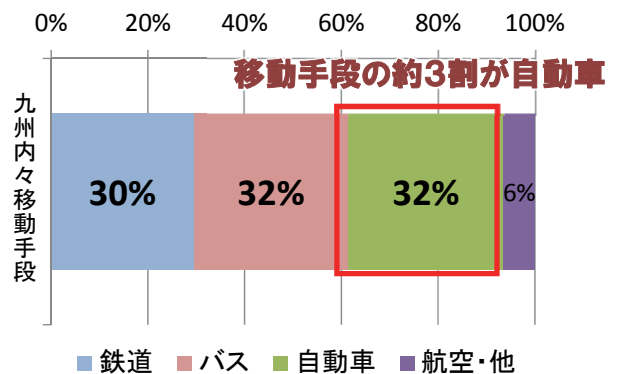
■インバウンド促進に向けた企画
レンタカーで九州をドライブしよう！2015
(Let's Drive Kyushu2015)



外国人を対象とする九州周遊割引商品「kyushu Expressway Pass2015」を販売。九州内のNEXCO西日本管理の高速道路を回数制限無しに定額利用※できる、外国人レンタカー(ETC限定)利用者向けの乗り放題プラン。

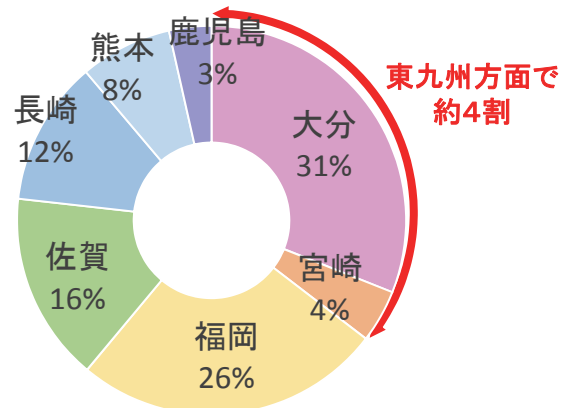
期間:9月1日~12月25日
※2,500円(2日間)~10,500円(10日間)の9プランを設定

■訪日外国人の九州内々移動手段内訳



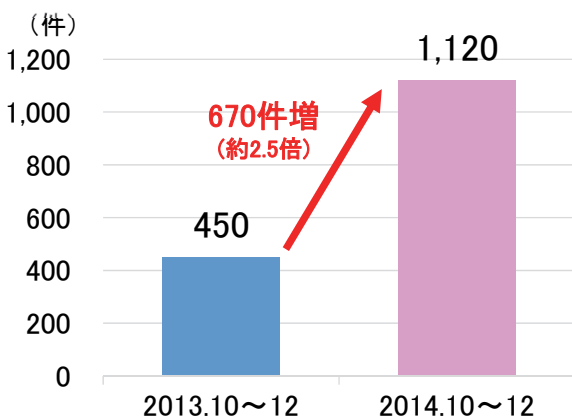
資料:第5回全国幹線旅客純流動調査(2010年)

■訪問地順位(利用IC)



資料:kyushu Expressway Pass(H26年度)利用実績(NEXCO西日本)

■レンタカーの利用実績(福岡空港)
プラン期間中の利用者が2.5倍(前年比)に増加



※昨年プラン期間は2014.10.1~12.26

資料:九州運輸局まとめ(レンタカー事業者の実績報告による)

観光施設関係者の声

外国人観光客も増えた。(高千穂峡)



資料:施設管理者ヒアリング結果